

② 第2委員会

「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」



それでは、第2委員会の意見を発表します。

第2委員会のテーマは「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」です。このテーマについて考えるため、私たちは、7月25日に西部医療センターの施設見学を行いました。

そこで、私たちは、ひだまりの丘や周産期医療センター、ヘリポート、そして、放射線治療装置を見ました。そして、西部医療センターでは、患者さんの気持ちが和らぐように、思いやりややさしさがあふれており、職員の方々が、一生懸命患者さんの命を救ってくれているということがわかりました。

その後、私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

私は、施設見学をして病気の見つけ方、そして病気を治す機械と道具などを教えてもらいました。けれども、病院には優しさがすごくたくさんありました。例えば緑をたくさんにしたり、部屋に工夫をしたり「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするためには、一人一人の優しさが大切だと思いました。

自分がやった優しさはいつか自分に返ってくるはずだと思いました。

○子ども議員

私は、西部医療センターに行き、患者さんが安心できるような工夫がたくさんあることを知りました。例えば患者さんの気持ちが和らぐために、植物や池がある施設があります。

このようなことを踏まえて、「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするには、体に不自由がある人でも安心安全に生活できるようにする必要があると思います。例えば車椅子の人が通りやすいように、階段の横にスロープをつけたりということです。少しはそのようなことがあります、その数をふやして行ってほしいです。

○子ども議員

わたしは、名古屋市立西部医療センターを見学しました。そして、その施設にあるひだまりの丘が一番心に残りました。それはそのひだまりの丘は、四季折々の植物があるからです。

そのほかにもリハビリのコースや一休みできるベンチもありました。私はとても気持ちが和らぐ場所だと思いました。もっと人が集まるようにおもしろい植物を植えたり座って休憩できる芝生をつくったらいいと思いました。そして、雨の日でも花を見てくつろげる場所をつくったらいいと思いました。

○子ども議員

わたしは、西部医療センターに見学に行きました。テーマは「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」です。

わたしは、いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくりをするためには、何をすることが必要かを考えました。床がやわらかい、リハビリができるなど、患者さんに優しい工夫がされているひだまりの丘のようなところが名古屋にいっぱいできたらいいなと思いました。

○子ども議員

私は今、世界には耳が聞こえなかったり、目が見えなかったりする障害者しょうがいの人たちがたくさんいると思うので、名古屋市ではその人たちでも十分楽な生活ができるようなまちにしたいと思います。そのために、私は施設見学わたし しせつを生かして、病院に、病気についての相談室や病気を患わずらっている人が、同じ病気に新たになった人へけいけんと経験話をするによって、急に病気になって「不安」な気持ちを「安心」な気持ちへとかえることができると私は思ったので、このような場所があったらいいなと思いました。

○子ども議員

私が、西部医療センターわたし いりょうを見学したかった理由は、自分が834グラムの超未熟児ちょうみじゅくとして産まれたので、2カ月半、NICUに入院していたおかげで、こんなに大きくなったことに感謝かんしゃしています。名古屋市では、このように設備せつびが整ったNICUなどの周産期医療いりょうやがん治療ちりょうに大変効果がある陽子線治療ちりょうをもっと病院にふやしてほしいと思います。

そして病気になったり赤ちゃんが小さく生まれても、安心して親子かんじゃや患者さんが治療ちりょうを受けられる名古屋にすると「いのちを大切に、思いやりのあるまち」になるとと思います。

○子ども議員

西部医療センターを見学し、一日中寝たきりの患者さんが安心できるように、中庭に四季折々の花などを育てたり、お母さんが安心できるような体制で赤ちゃんを産めたり、できるだけ入院時も赤ちゃんとお母さんが過ごせるようにしていることなどがわかりました。

このセンターで大事にしていることを、名古屋市の中のほかの病院などに生かしたらいいと思いました。

○子ども議員

私は西部医療センターに行きましたが、特に印象に残ったのが周産期医療センターです。そのわけは、お母さんと赤ちゃんに異常があったら集中治療室に運ばれるようにいろいろな設備が整っていることがわかりました。そして、周産期医療センターがもっとよくなるためには、毎朝に赤ちゃんとお母さんの健康診断をして異常があったら検査する態勢にするようにすれば、早くに異常が見つかることができます。各区に西部医療センターのような設備の整った病院があるまちにしてほしいです。

○子ども議員

私わたしが西部医療センターいりょうを見学したいと思った理由は、祖父そふが今がんで入院中なので、がんのことなどを知りたかったからです。私わたしの祖父そふは時々健康のために歩いています。なので、みんなが歩きたくなるような段差のない道ばかりだといいなと思います。

もう一つは赤ちゃん一人産むにもいろいろな人の助けが必要です。また、子育てをするにもお母さん一人ではできません。時々大切な命そまつを粗末にするニュースを見ると悲しくなります。だから、お母さんが子育てしやすいまちになるといいと思います。

○子ども議員

僕ぼくが、なごや子ども市会子ども議員おうぼに応募して一番行ってみたいと思ったところが西部医療センターいりょうでした。西部医療センターいりょうには手術室しゅじゅつや患者さんの癒やし空間かんじゃとして使われるひだまりの丘おかなどの場所がありましたが、その中でも一番印象に残ったのがヘリポートでした。ヘリポートは夜でも明かりがついているので、ヘリコプターからも見えやすくなっていて、周りには柵さくがありませんでした。その理由は、ヘリコプターが強風にあおられて横転するのを防ぐためふせでした。このヘリポートは災害時さいがひに多くの人々を助けることができる素晴らしい施設しせつでした。

○子ども議員

僕は、西部医療センターに視察に行ってきました。たくさんの設備があり、最先端の医療ができるところです。周産期のハイリスクの出産を24時間体制で受け入れをしてもらえる高度な治療ができる医療器具があり、すばらしい病院です。屋上のヘリポートも見学ができました。重症な患者さんを受け入れることができます。ひだまりの丘は癒やしの空間と地球環境配慮のための屋上緑化として整備されています。リハビリテーションがあり、患者さんがリラックスできて早く病気が回復すると思いました。こういう病院がたくさん名古屋にあってほしいと思います。

○子ども議員

私は、西部医療センターで見た放射線治療に感心しました。1秒間に3回回るCTや体への負担が少なく治療ができるリニアック、ほかにもいろいろな医療器具があり、治療が受けやすいと思ったけれど、中には怖いから治療を受けたくないという人がいると聞いたので、コンピューターで体の中を傷めずに見られるということがわかる、わかりやすい動画をつくって流すという方法を考えました。この方法なら早期発見もできていいと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は^{いりょう}西部医療センターで、命を大切にすることがどれだけ大切かということ学びました。その中で、一番心に残ったことは、^{ほうしゃ}放射線を使って体の中をコンピューターで体^{いた}を傷めずに見られることです。これは^{いりょう}西部医療センターの理念、「^{かんじゃ}患者さんと^{しよくいん}職員の笑顔が見られる病院」にぴったり合っていると思います。この体の中を見られることを使って、「^{じゅしん}受診しなかったら、こういうふう、悪い例になるんだよ」ということを体の中を^{たんけん}探検していきながら見るPR動画をおもしろおかしく伝えればいいなと思いました。

^{わたし}私たち第2委員会は、このようなことが名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするために必要だと考えました。
これで、第2委員会の発表を終わります。



■ 松井財政福祉委員長の答弁

第2委員会の皆さん、お疲れさまでした。この議場の皆さんに自分の思いをしっかりと伝えることができ、大変すばらしい発表だったと思います。

今回私たちは、7月25日、西部医療センターに行きました。そしてそこでまず最初に見たのは、屋上に屋上庭園、ひだまりの丘、病氣やけがで不安になっている患者さんの気持ちや和らげるような工夫や配慮がありました。ヘリポートも見ただよね。もしも地震などの災害が起こっても、患者さんをすぐに受け入れられるということがわかりました。

放射線治療については、今まで見たことがないような大きな装置、たくさんありました。そして体に優しい治療を行っていることがよくわかったと思います。

また、周産期医療センターでは、看護師さんから産まれたばかりの、まさに1時間前までお母さんのおなかの中にいたかわいらしい赤ちゃんをみんなで一緒に見たよね。出産や育児に関し、お母さんや赤ちゃん、家族、みんなが安心できるようなさまざまな取り組みをやっていることを、看護師さんからも学んだと思います。

このような見学を通じて、皆さんはそれぞれの視点で命の大切さを考えることができたのではないかと思います。

そして、子ども委員長と子ども副委員長のもと、今回のテーマである名古屋市を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするために必要なことについて、13名の委員さん全員でそれぞれ意見・提案が出ていました。皆さんの力を合わせて、活発に議論を行った



結果、第2委員会として立派な意見発表をつくり上げることができ、
 私たち大人の議員も大変感動しました。うれしかったです。

これからも命の大切さについて、この子ども市会で学んだことや
 経験したことを生かして、より具体的に考え行動してほしいと思
 います。そして、ぜひ御家族やお友達に伝えていただきたいと思
 います。私たち議会も、皆さんからいただいた提案をしっかりと受けと
 めて、名古屋市を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にす
 るために、より一層努力していきたいと思
 います。

今回、こうして皆さんと出会い、さまざまな意見をいただいたこ
 とは、私たちにとっても非常に大きな経験となりました。この第2
 委員会を担当させていただきました中村副委員長、柴田副委員長、
 指導主事の伊東先生、代表いたしまして私から心から感謝したいと
 思います。

最後に、第2委員会のみんな、3日間という大変短い期間でした
 けれども、6年生のみんなはもう来年は中学生、そして5年生のみ
 んなは来年度は各小学校の最上級生、リーダーであります。この3
 日間の経験を生かして、ぜひともさらに飛躍していただきたいと思
 います。本当にありがとうございました。

これで私の答弁を終わります。

